

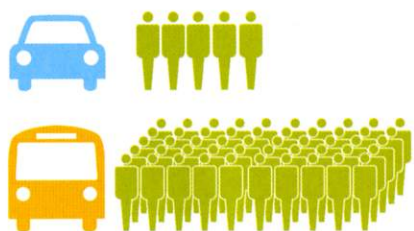
なぜ、いま「バス」なのですか？

→それは、環境にやさしく、工夫次第では
きめ細かいサービスが可能な乗り物だからです！

バスの利用者は近年のサービス向上策の実施などにより、やや増加傾向ですが、ピーク時の約5分の1にまで減少しています。でも、バスにはこんなメリットがあります。

1 まちにやさしい

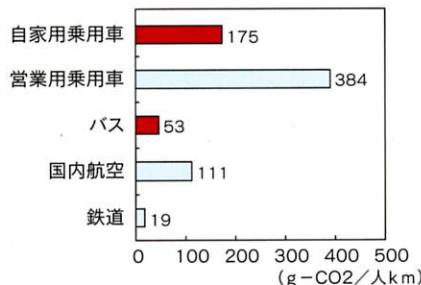
一度に多くの人間を運ぶことができ、自動車からバス利用に変えてもらえれば、その分、自動車が減少し渋滞が緩和され、交通事故も減少します。



2 環境にやさしい

1人1km輸送時の二酸化炭素排出量は自家用乗用車のおよそ3分の1です。

【1人を1km輸送する際のCO2排出量】



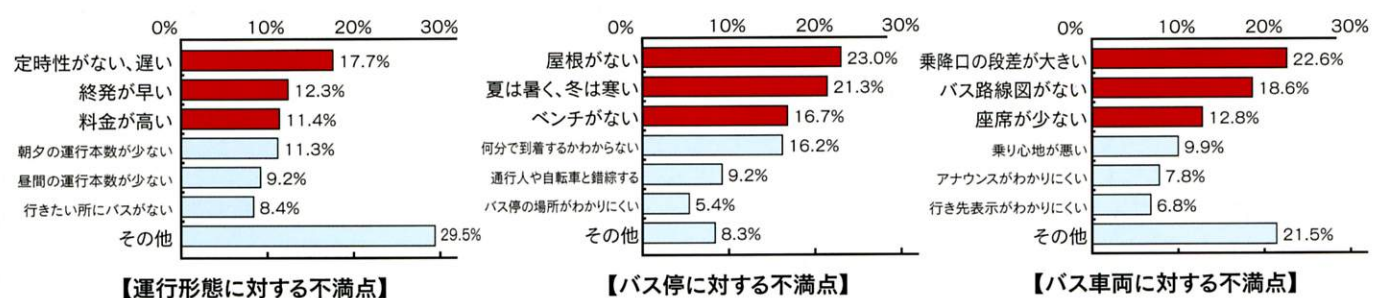
3 人にやさしい

段差が少なく乗降しやすいバスは、お年寄や障害のある方に優しい乗り物です。

高齢者が増加する今後においては、非常に大切な乗り物です。

でも、現在のバスにはさまざまな問題点があります。

◎松山市内のバスに対する不満点（平成16年8月松山市実施）



※上記の統計は複数回答の為、合計が100%にならない場合があります。

現在のバスの問題点を解消し、みなさんにバスをもっと利用してもらう
それが、松山市オムニバスタウン(MOT)計画です。

松山市オムニバスタウン(MOT)計画

1. もっと(MOT)バスを便利で安全にするために!

- (1) 本数増便の検討
- (2) 快速バスの増便
- (3) バス路線の新設
- (4) ICカードの導入
- (5) 鉄道・バス共通運賃制度の導入検討
- (6) バスロケーションシステムの拡充
- (7) ノンステップバス・低公害車バスの拡充
- (8) 体系的な旅客案内システムの構築

2. もっと(MOT)バスを利用しやすくするために!

- (1) サイクル・アンド・バスライドの導入検討
- (2) パーク・アンド・バスライドの導入
- (3) ハイグレードバス停の整備
- (4) 交通結節点の整備

基本理念

「地球にやさしい日本一のまちづくり」

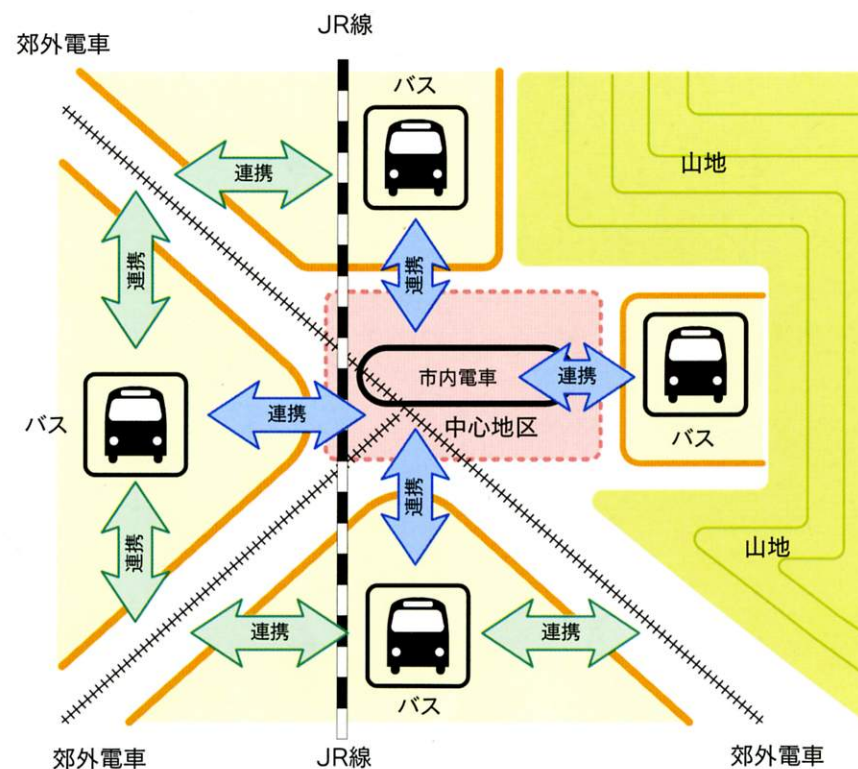
～バスの魅力を最大限に生かした総合的な交通体系の確立～

3. もっと(MOT)バスをスムーズに走らせるために!

- (1) 公共車両優先システム (PTPS) の導入
- (2) バス優先レーンのカラー舗装化
- (3) 道路整備・交差点改良の促進
- (4) トランジットモールの導入検討

4. もっと(MOT)バスのことを知るために!

- (1) オムニバスタウン施策の浸透
- (2) バス利用促進キャンペーン実施
- (3) バス優先の徹底



計画の実施にあたっては、郊外電車、市内電車とお互い連携を保ちながら公共交通全体の利便性向上を図っていくことにより、バスの魅力を最大限に引き出していきます。

詳しい説明はこちらに